

## 参考となる成果整理表

## ヤナギムシガレイの成熟全長の小型化

福島県水産海洋研究センター 海洋漁業部

### 1 部門名

水産業—資源管理—底びき網

### 2 担当者名

白土遼輝・新関晃司

### 3 要旨

漁業者からヤナギムシガレイについて小型の抱卵個体が多くなったとの情報が寄せられたことから、調査船いわき丸による採捕調査の測定データについて解析した。

この結果、2020～2025年は成熟～産卵に至る小型個体（全長200mm以下）が増加していたことが確認された。

(1) 調査船いわき丸の着底トロール網で採捕したヤナギムシガレイ（メス）の測定データ（2006～2025年）を用い、おおむね5カ年ごとに全長と成熟段階および生殖腺重量指数（GSI）の関係を整理した。

(2) 成熟した個体は2006～2019年までおおむね全長200mmを超えていたが、2020～2025年は200mm以下の個体が増加していた（図1）。全個体数に対する全長200mm以下の割合は、27%(2006-2010)、21%(2015-2019)、2020-2025(25%)であり、200mm以下の成熟個体数割合はそれぞれ0.2%、1.2%、2.9%であった。

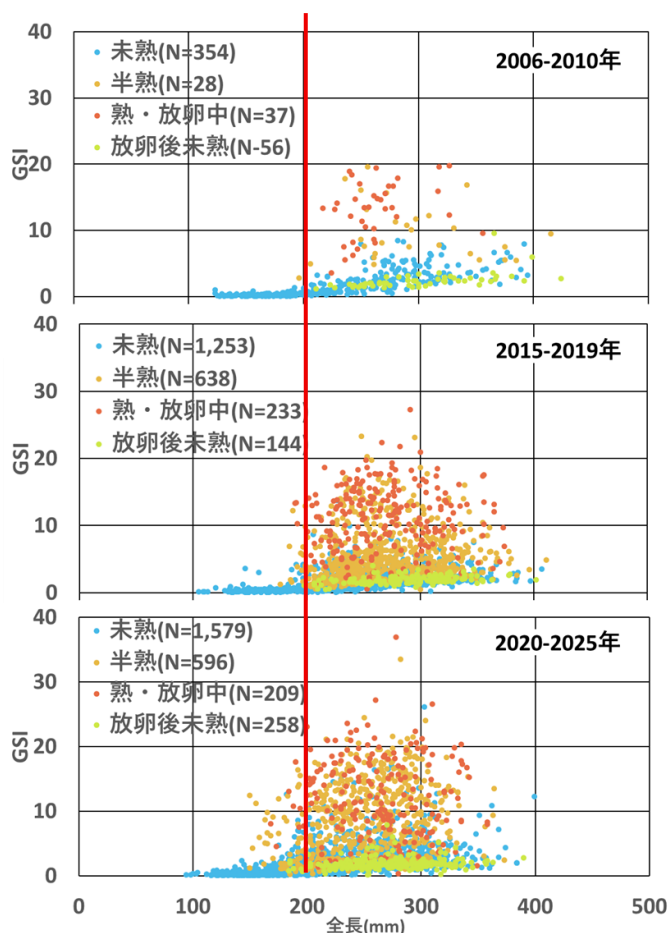


図1.全長別の成熟状況とGSIの関係

### 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～令和7年度
- (2) 研究課題名 底魚資源の管理手法に関する研究

### 5 主な参考文献・資料

- (1) 島村信也・五十嵐敏,福島県沿岸で漁獲されたヤナギムシガレイについて,福島水試研第9号,46-47,2000.
- (2) 高梨勝美・吉田雅範・三浦太智・高津哲也・松田沙織,ヤナギムシガレイの資源生態調査と管理手法開発事業,地方独立行政法人青森県産業技術センター水産総合研究所,9-10,2012.